

学校と地域が育む学びの輪「七夕 折り紙教室」

- 季節の行事を感じ、子どもたちの情緒豊かな成長を促進するため、七夕を控えた6月に1・2年生を対象とした「七夕 折り紙教室」が毎年開催されています。
- 地域コーディネーターの調整のもと、地域の協力者や児童の保護者を集めています。協力者の募集にあたっては、保護者への通知のほかボランティアに来てくれた方と積極的に話し、絆を深めることを大切にしているそうです。
- 児童たちは、自分の作りたい七夕飾りを教えてくれるボランティアの方のところに向かい、「どうしたらいいの?」と直接教わりながら、楽しそうに活動していました。
- 七夕の折り紙教室を通して、子どもたちは地域の大人と積極的にかかわることができています。日常生活でも地域の大人に対して元気にあいさつすることが自然とできているそうです。

7種目の七夕飾り指導

やっこさん
つる
かぶと
だましぶね
おりひめ・ひこぼし
ふうせん
ひし飾り・輪つなぎ



ボランティアの方の挨拶



おりひめ・ひこぼし



【学校の声】

家庭だけではなかなか難しい年中行事への参加ですが、地域協議会との連携で実施することで、児童同士や地域の大人たちと七夕の話をする機会となり、児童の豊かな心を育むことができています。

ボランティアの募集といった人材の調整を含め、地域コーディネーターが中心となって準備をしてくれるため、とても助かっています。今後もこの活動を続けていきたいです。

【地域協議会の声】

昭和地区では保護者や地域の人が学校にとっても協力的です。

ボランティアは1・2年生以外の保護者も参加しており、地域ぐるみで子どもたちの学びを支える体制が整っています。

ボランティアの方たちも楽しみながら参加してくれる方が多いです。

【いいね!】

ボランティアと児童の間に余計なものは置かず、全員が輪になることで、隔たりに感じさせない空間づくりができています。

ボランティアは七夕飾りを指導する一方で、児童が創造力を膨らませて思い思いに七夕飾りを作成していく過程を肯定的に受け止め、見守っている姿がうかがえた。

